



命・絆・元気の道

そして東紀州をひとつに

紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の ストック効果

令和3年8月

東紀州地域高速道路整備効果検討会



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



NEXCO
中日本

中日本高速道路(株)



国土交通省



～目 次～

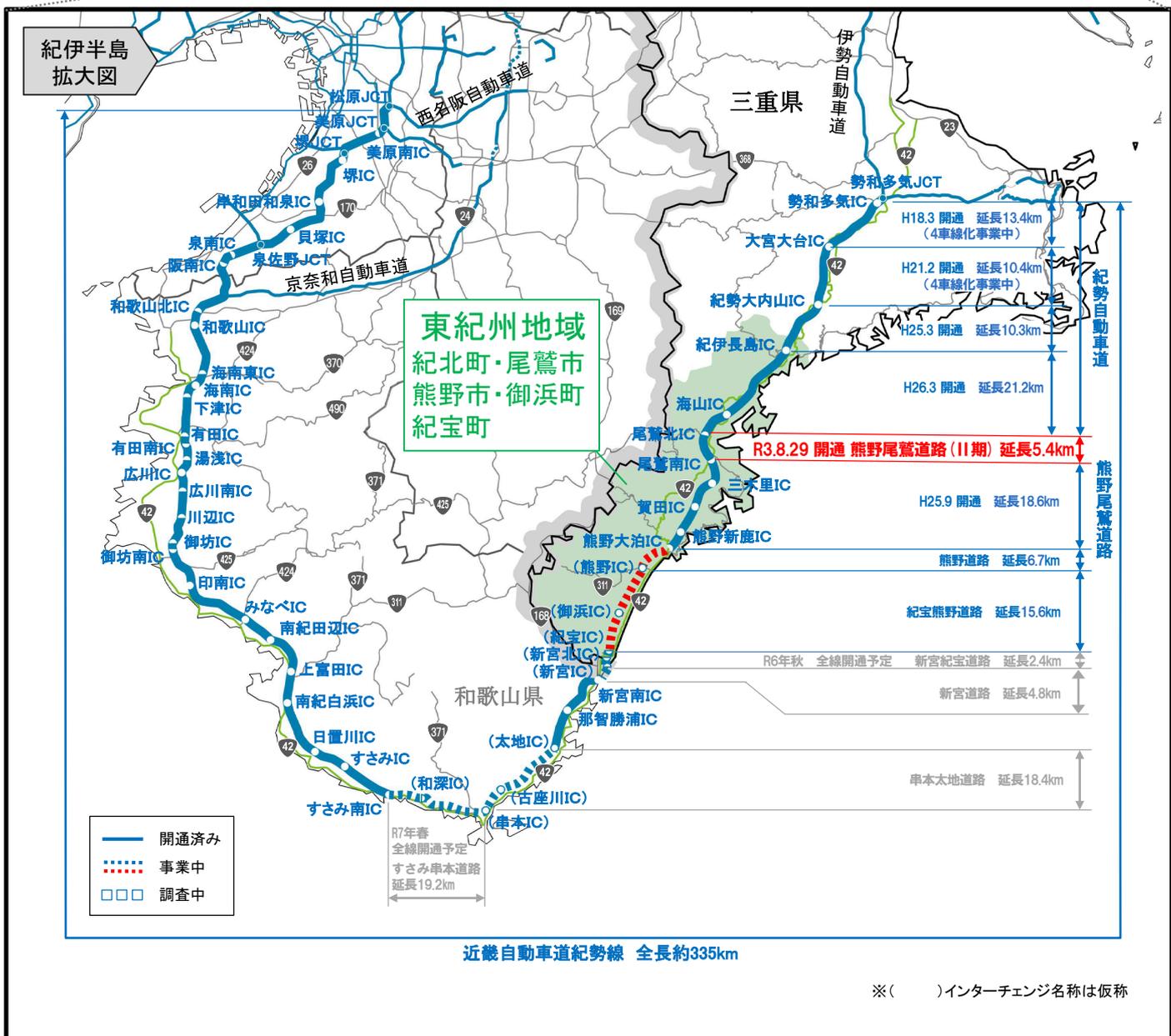
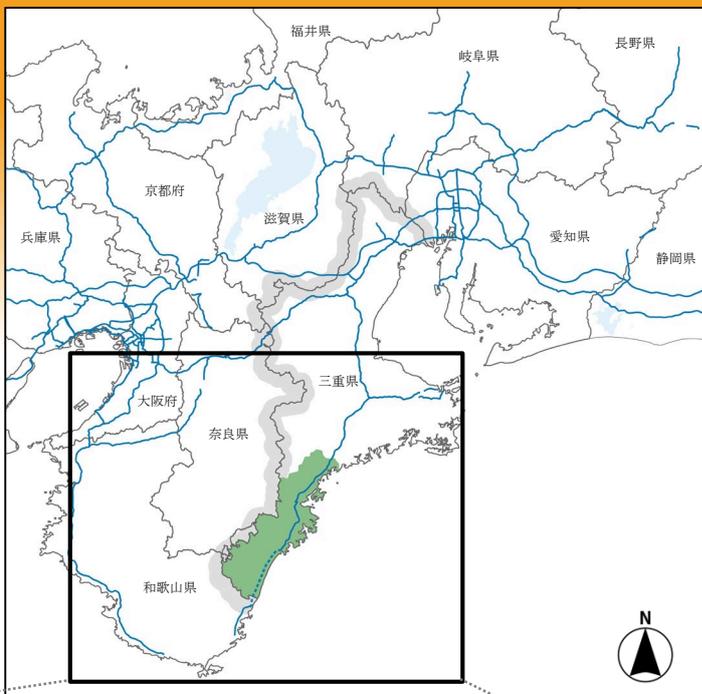
～紀伊半島をぐるっとつなぐ近畿自動車道紀勢線～ 東紀州地域がぐっと近くに！	・・・・・・・・ P 3
～都市部から多くの観光客がわが町に～ 観光入込客数 5 年連続200万人突破！	・・・・・・・・ P 4
～都市部からの日帰り観光圏域が拡大～ 滞在時間が増加し消費額も増加！	・・・・・・・・ P 5
～大自然を求め予約困難な人気施設に～ キャンプ場の売上げが過去最高を記録！	・・・・・・・・ P 6
～アクセス向上により気軽に大迫力の花火を体感～ 人気の花火大会に県外からの来場者が増加！	・・・・・・・・ P 7
～より多くの立ち寄りや周遊観光が可能に～ 観光地へのツアーバスの立寄りが増加！	・・・・・・・・ P 8
～長年、地域を悩ませた大雨による災害～ 陸の孤島からの脱却！	・・・・・・・・ P 9
～南海トラフ地震への備え～ 津波から地域住民の“いのち”を守る！	・・・・・・・・ P 10
～熊野道路の開通に期待～ 通行止により日常生活に大打撃！	・・・・・・・・ P 11
～高度医療機関との連携強化～ “いのちを救う”医療サービスが身近に！	・・・・・・・・ P 12



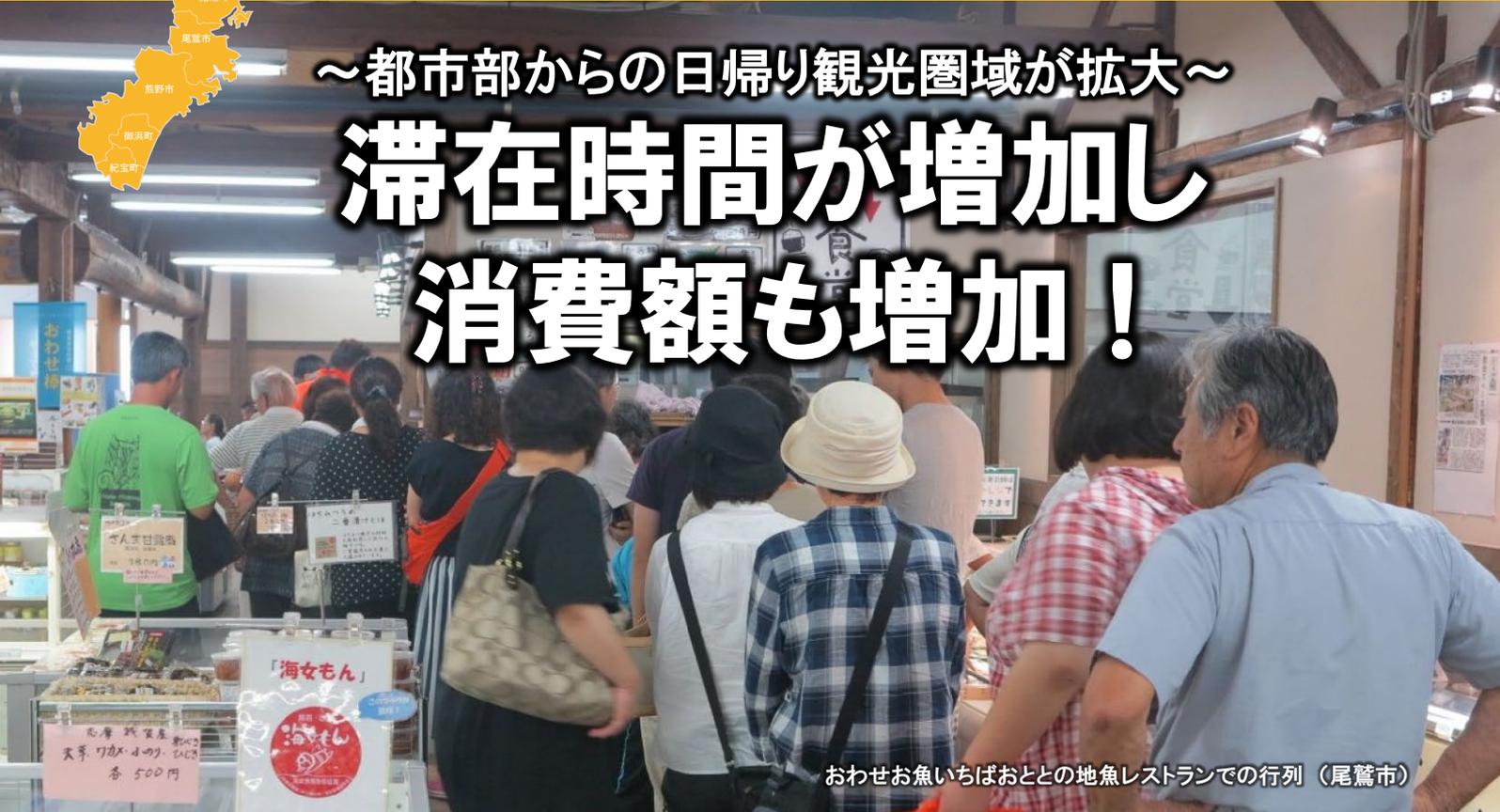
～地域企業が開通効果を実感～ 企業活動・業績がプラス！	・・・・・・・・ P 13
～荷痛み軽減・安定輸送が実現～ 三重南紀みかんの海外販路拡大を支援！	・・・・・・・・ P 14
～精密製品の安定輸送が実現～ 地方の高い技術力で日本の住宅火災を守る！	・・・・・・・・ P 15
～まちなかに多数の店舗が新規出店～ にぎわいが創出され新規求人数も増加！	・・・・・・・・ P 16
～地域の魅力向上を支援～ I・Uターン世帯や高校生の地元就職が増加！	・・・・・・・・ P 17
～空き家の有効活用にも寄与～ 2地域居住で豊かな暮らしが実現！	・・・・・・・・ P 18
～スポーツ交流地としてのブランド化を推進～ スポーツ交流宿泊者数が過去最高を記録！	・・・・・・・・ P 19
～交通分散により渋滞が大幅減少～ 世界遺産で打ち上がる花火をゆっくりと！	・・・・・・・・ P 20
～ニューノーマルな旅をサポート～ 道の駅と連携して周遊観光の拠点を形成！	・・・・・・・・ P 21
資料のとりまとめにあたって	・・・・・・・・ P 22

～紀伊半島をぐるっとつなぐ
近畿自動車道紀勢線～

東紀州地域が ぐっと近くに！



～都市部からの日帰り観光圏域が拡大～ 滞在時間が増加し 消費額も増加！



おわせお魚いちばおととの地魚レストランでの行列（尾鷲市）

- ❖ 東紀州地域の令和元年の夏期(7月～9月)観光入込客数は、紀勢自動車道全線開通前の平成24年と比較して、**約4.65万人増加**。
- ❖ また名古屋市などの都市部からの所要時間短縮により、**日帰り滞在時間が約1.1倍**、日帰り観光客1人当たりの消費が**約1.3倍に増加**。
- ❖ その結果、令和元年の夏期日帰り観光客による消費額が、平成24年と比較して**約9億円増加**。

東紀州地域における全線開通による変化

before(開通前 平成24年)

after(開通後 令和1年)

■名古屋市から熊野市への所要時間

所要時間 約3時間30分 → 約2時間30分 **約60分短縮**

■東紀州地域の観光入込客数(夏期)

入込客数 約58.1万人 → 約62.7万人 **約4.6万人増加**

■東紀州地域での日帰り滞在時間

滞在時間 約288分 → 約324分 **約1.1倍(約36分)増加**

■東紀州地域での日帰り観光客1人当たりの消費額

消費額 約3,950円 → 約5,248円 **約1.3倍(約1,298円)増加**

夏期の日帰り観光客による消費額が開通前に比べて
約9億円増加

※所要時間は、道路交通センサス(開通前:H22、開通後:H27)より作成
※入込客数、滞在時間は、観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書より作成
※消費額は夏期(7月～9月)の日帰り観光客1人当たりの消費額に入込客数・滞在種別を乗じて算出



※施設は観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書に記載されている調査地点を記載

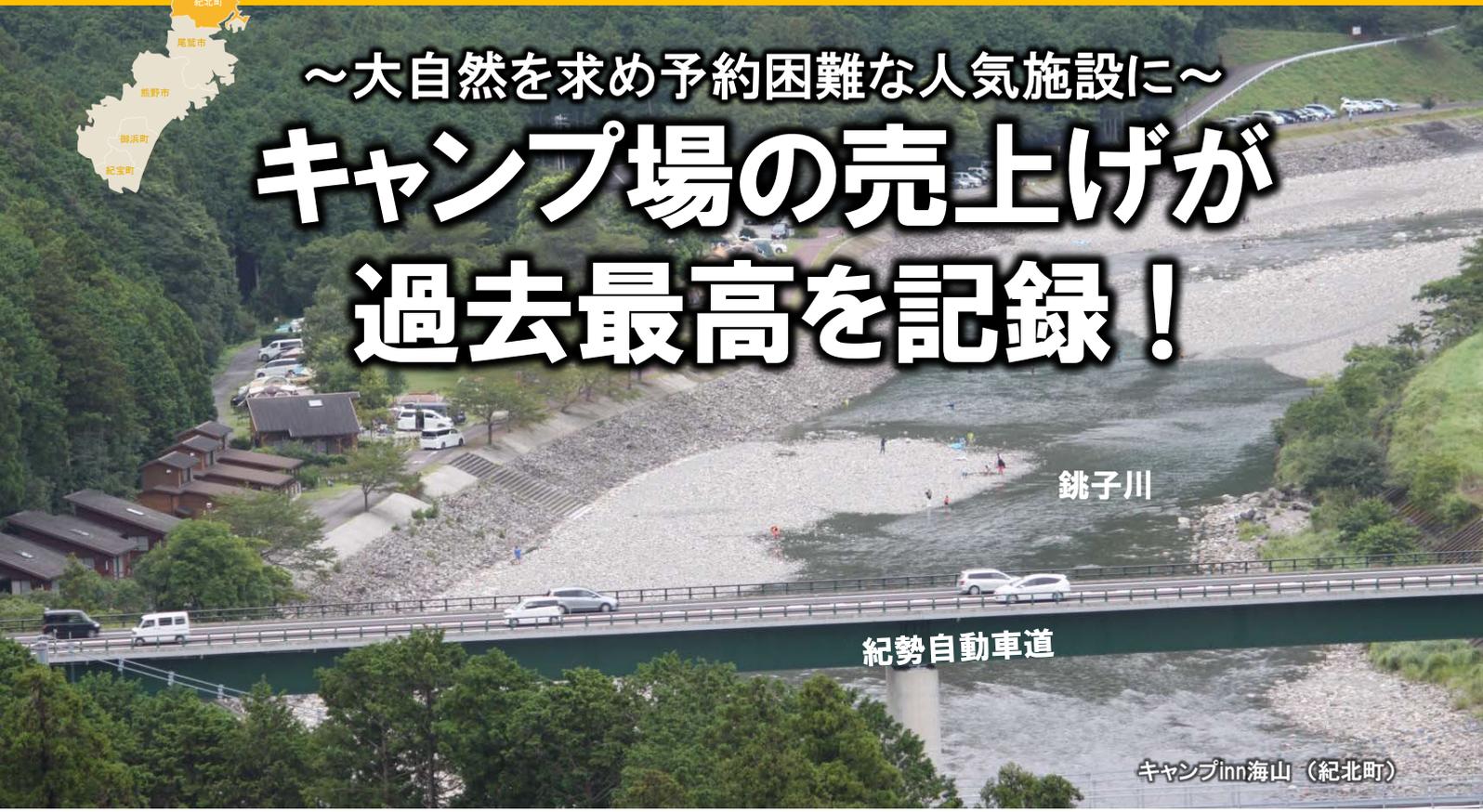


イベントに参加する観光客で賑わう 三重県立熊野古道センター



散策する観光客で賑わう 鬼ヶ城

～大自然を求め予約困難な人気施設に～ キャンプ場の売上げが 過去最高を記録！

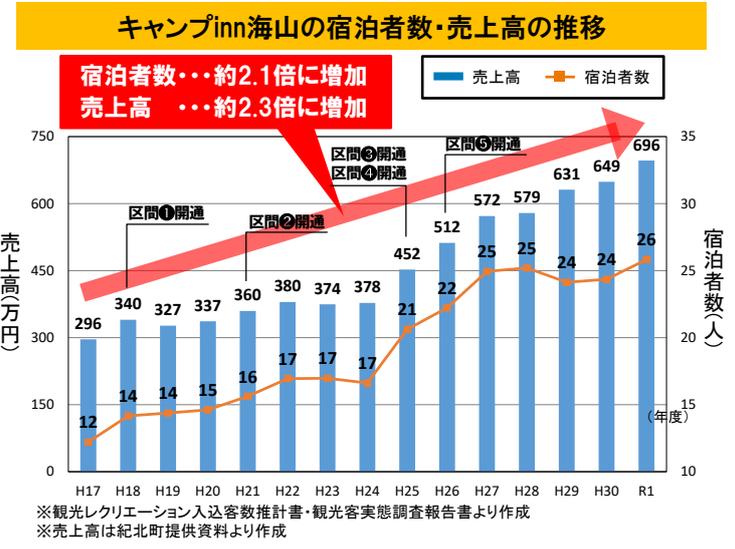
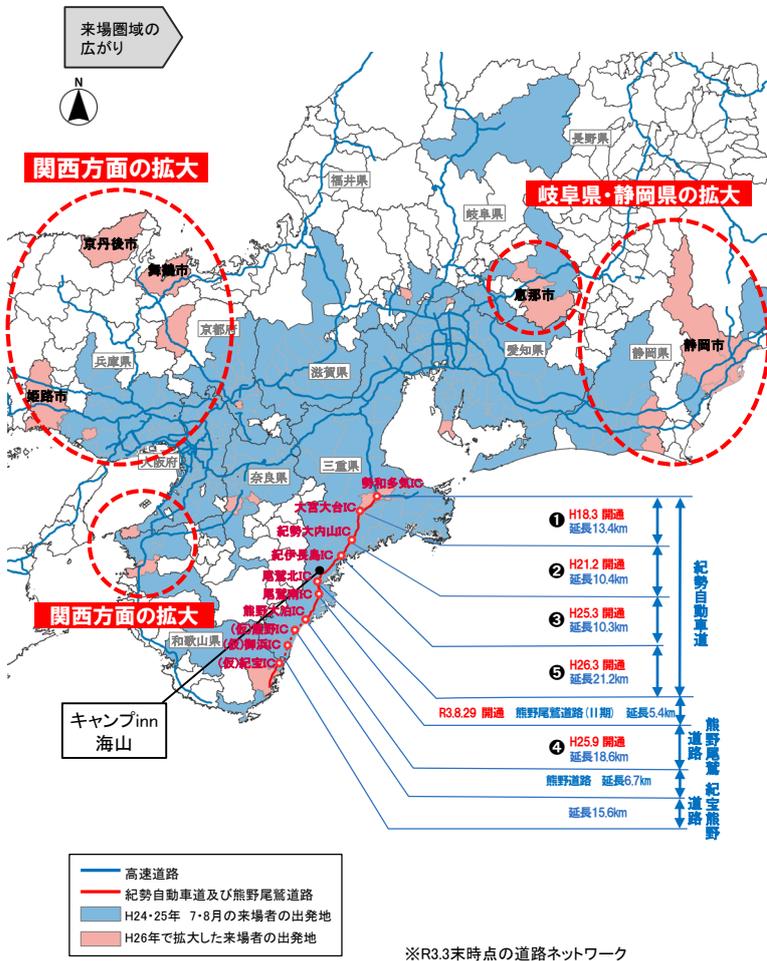


銚子川

紀勢自動車道

キャンプinn海山（紀北町）

- ◆ 紀北町にあるキャンプinn海山では、高速道路の開通により**岐阜県・静岡県・関西方面**に**来場圏域が拡大**。
令和元年の宿泊客数は、高速道路未整備時である平成17年と比較すると、**約2.1倍と大幅に増加**。
- ◆ また、**売上高も約2.3倍に増加し過去最高を記録**するなど、地域経済活性化を支援。



高速道路の開通効果もあり、利用者数、売上げともに過去最高となりました。予約が満杯で、7、8月の夏休みに利用できない客が9月に宿泊するなど、新たな傾向も出ています。



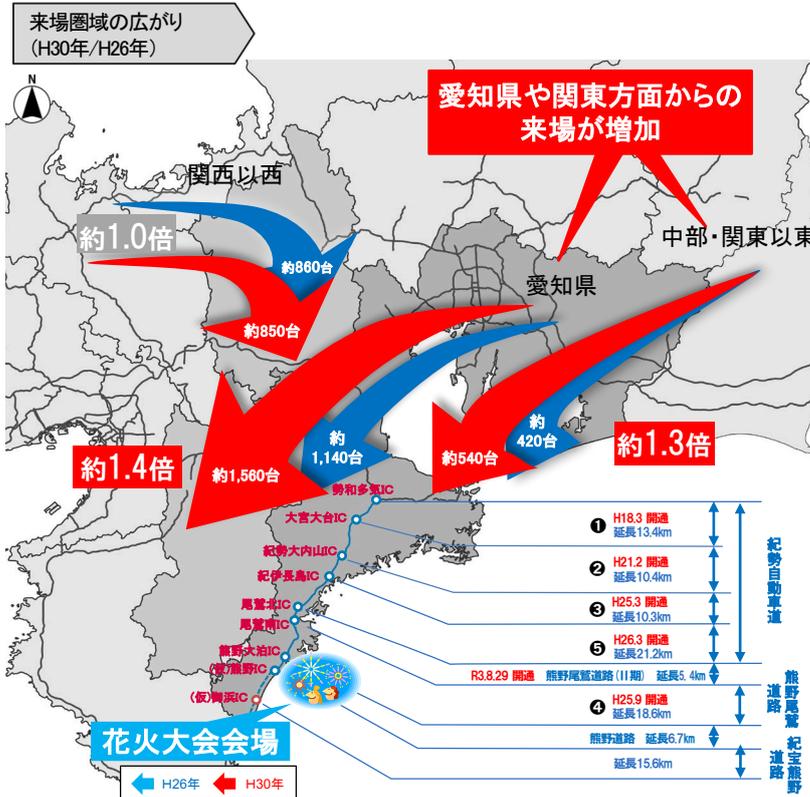
※紀勢国道事務所・紀北町によるヒアリング調査結果より作成

～アクセス向上により気軽に大迫力の花火を体感～ 人気の花火大会に 県外からの来場者が増加！

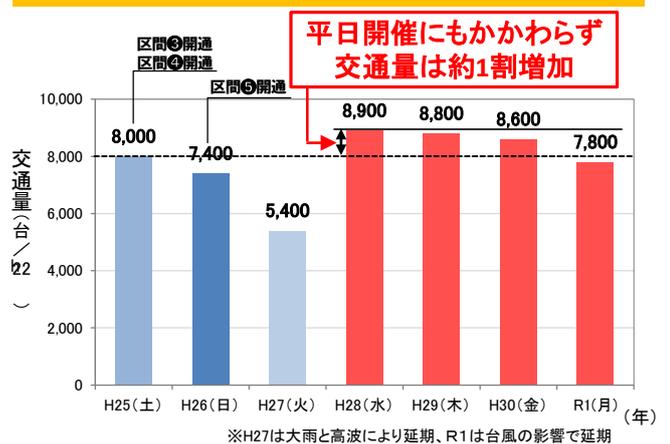


熊野大花火大会（熊野市）

- ❖ YAHOO! JAPAN2016年版「有名花火師が選ぶおすすめ花火大会厳選10選」全国第8位、「東海の人気花火大会ランキング」第3位と人気の熊野大花火大会。
- ❖ 高速道路の開通により来場環境が向上したこともあいまって、愛知県や関東方面からの車での来場が約1.3～1.4倍に増加。
- ❖ 令和元年は開催日を延期したにもかかわらず、花火大会会場へ向かう交通量は、交通量調査開始（平成25年）以降の土・日開催と同程度であり、熊野大花火大会の人気の何える。



花火開催日の国道42号下り(和歌山方面)交通量



県内外からの車で満車となる臨時駐車場



高速道路開通後、特に関東・東海地区からの来場が増えています。

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)・熊野道路が早期に開通することで、もっと多くの方に熊野大花火の魅力を感じていただきたいと思っています。



熊野市観光協会
会長の声

※紀勢国道事務所・熊野市によるヒアリング調査より作成

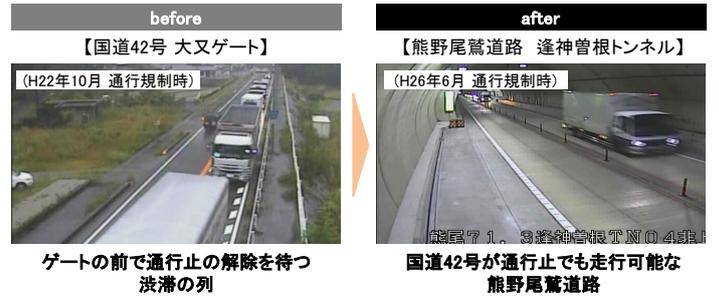
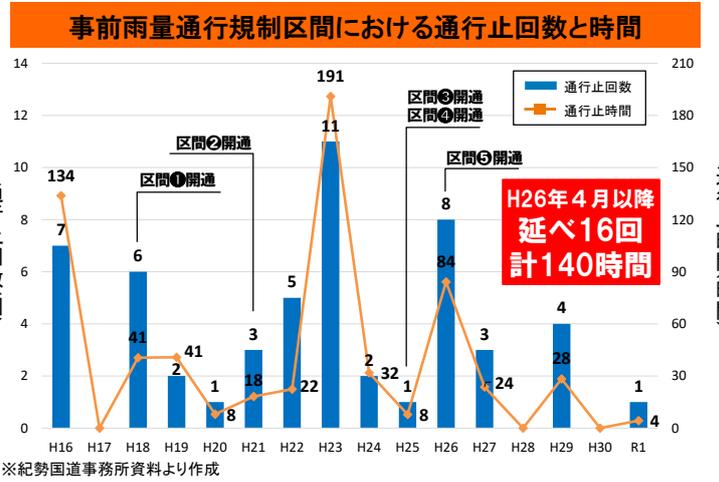
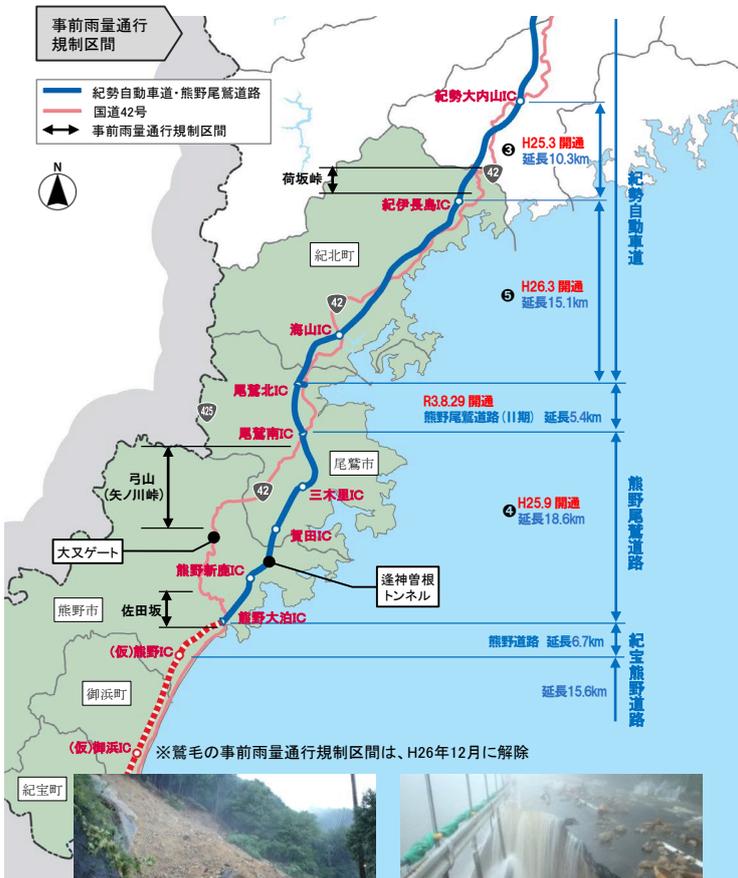
※紀勢国道事務所による尾鷲南IC入口交差点におけるナンバープレート調査結果より作成
※調査対象車両は乗用車
※R3.3時点の道路ネットワーク

～長年、地域を悩ませた大雨による災害～ 陸の孤島からの脱却！



平成16年台風21号による国道42号での災害（紀北町）

- ❖平成16～25年度の過去10年間における事前雨量通行規制区間の通行止は延べ38回、469時間。
- ❖紀勢自動車道全線、熊野尾鷲道路開通後の平成26年4月以降も※延べ16回、140時間の通行止が発生しているが、地域経済や地域間交流はストップすることなく、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路が国道42号の代替路として機能を発揮。 ※令和元年10月現在



ゲートの前で通行止の解除を待つ渋滞の列

国道42号が通行止でも走行可能な熊野尾鷲道路

尾鷲市は国道42号事前雨量通行規制区間に挟まれ、通行止になると陸の孤島になっていました。現在では国道42号が通行止になっても高速道路があるので、医療・物流・人の移動などすべての面において安心です。

※紀勢国道事務所によるヒアリング調査結果より作成



【尾鷲市 市長公室長の声】

H25年災害(紀北町海山区)

H23年災害(熊野市大泊町)

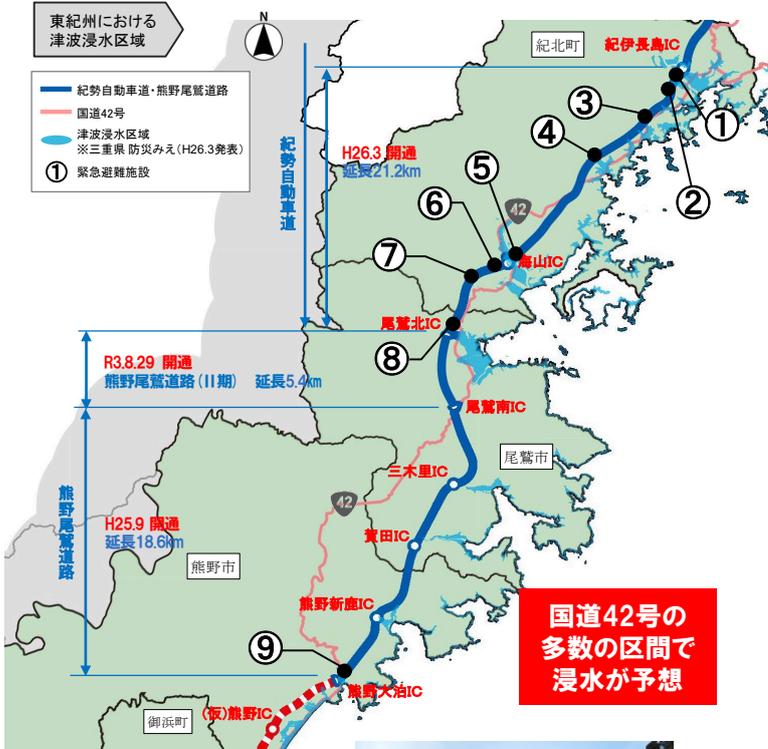
～南海トラフ地震への備え～

津波から地域住民の “いのち”を守る！



緊急避難施設での訓練状況（紀北町）

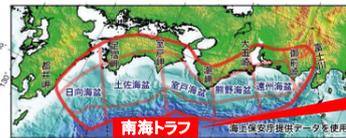
- ❖南海トラフ地震による津波被害の備えとして、高台に位置する高速道路の**管理用通路等を緊急避難施設として整備し、自治体と連携を図り活用。**
- ❖紀勢自動車道・熊野尾鷲道路では、**全部で9箇所の緊急避難施設を整備**することで、地域住民の命を守る。



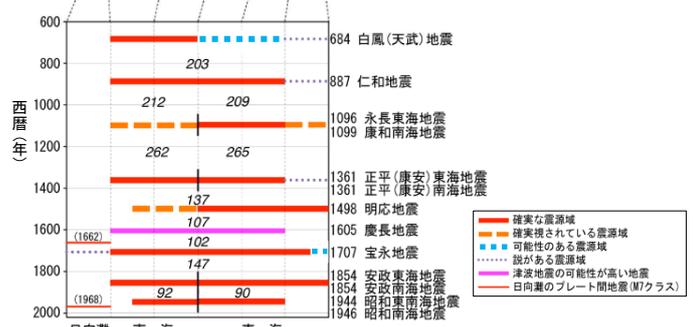
紀北町海山区船津(前柱)の緊急避難階段



過去の大規模地震発生状況



**南海トラフ地震が
30年以内に
70%程度の確率で発生**



※イラスト 文部科学省
地震調査研究推進本部「南海トラフの地震活動の長期評価(第二版)」(H25.5.24)
※発生確率 文部科学省
地震調査研究推進本部「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」(H28.1.1)



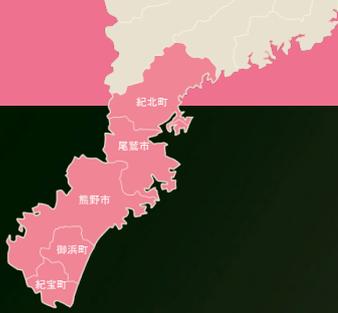
昭和東南海地震による津波被害（尾鷲市）

※提供：尾鷲市 撮影：太田金典氏

～高度医療施設との連携強化～

“いのちを救う”

医療サービスが身近に！



熊野尾鷲道路を通行する救急車両（尾鷲市）

- ❖ 東紀州地域は第3次救急医療機関の60分圏域外にあり、3箇所の第2次救急医療機関が連携・分担して地域医療を担っている状況。
- ❖ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通により、第2次救急医療機関である紀南病院から第3次救急医療機関である伊勢赤十字病院への転院搬送時間が約70分短縮。将来的には約80分の時間短縮が見込まれる。
- ❖ 安定走行が実現するとともに、搬送時間の短縮により、転院にかかる患者の負担が大きく軽減。あわせて、第3次救急医療機関への転院搬送件数が大幅に増加。

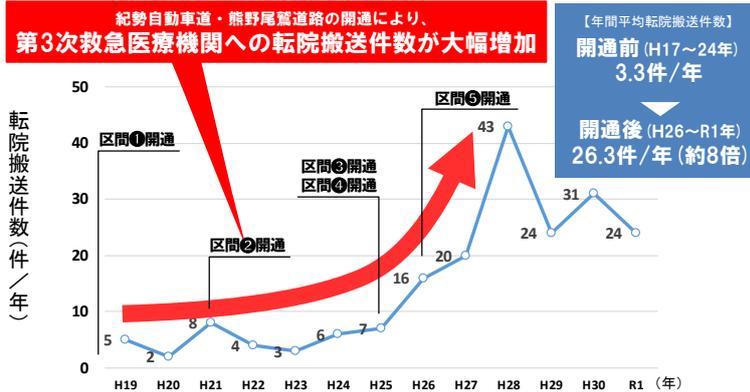


紀南病院から伊勢赤十字病院への転院搬送時間の変化



※開通済区間は、熊野市消防本部提供資料の実績値により作成
※事業中区間開通後は、平成27年度全国道路・街路交通情勢調査結果及び設計速度より算出

東紀州南部地域※から第3次救急医療機関への転院搬送件数の変化



※東紀州南部地域：熊野市、御浜町、紀宝町
※熊野市消防本部提供資料より作成

～地域企業が開通効果を実感～

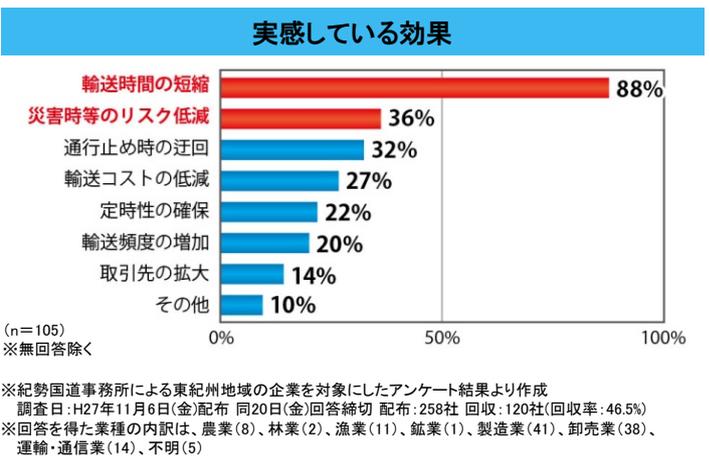
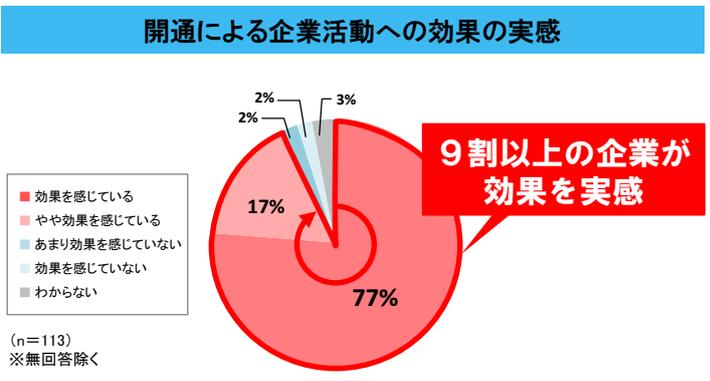
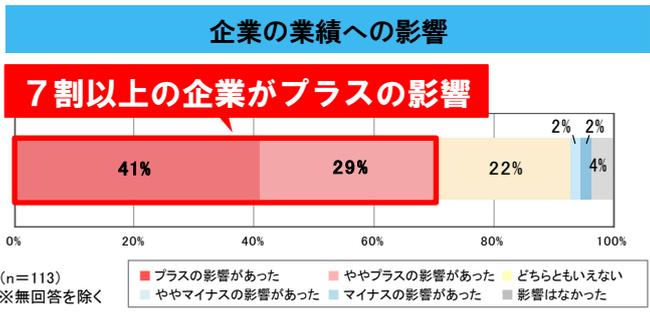
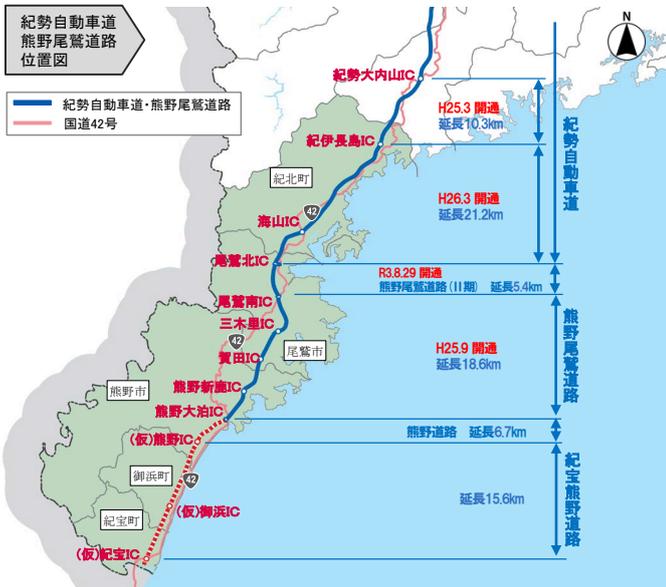
企業活動・業績がプラス！



紀勢自動車道を通行する活魚車（紀北町）

- ❖ 東紀州地域に立地し、製品等の輸送を伴う企業258社※を対象に、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通効果に関するアンケート調査を実施し、120社が回答。（回収率：46.5%）
- ❖ 回答企業の9割以上が開通による効果を実感。第1位が「**輸送時間の短縮**」、第2位が「**災害時等のリスク低減**」。
- ❖ また、回答企業の7割以上が、**開通により「業績にプラスの影響があった」と回答。**

※(株)帝国データバンクに登録され東紀州地域に会社が位置し、業種が農業、林業、漁業、鉱業、製造業、運輸・通信業、卸売業に該当する企業



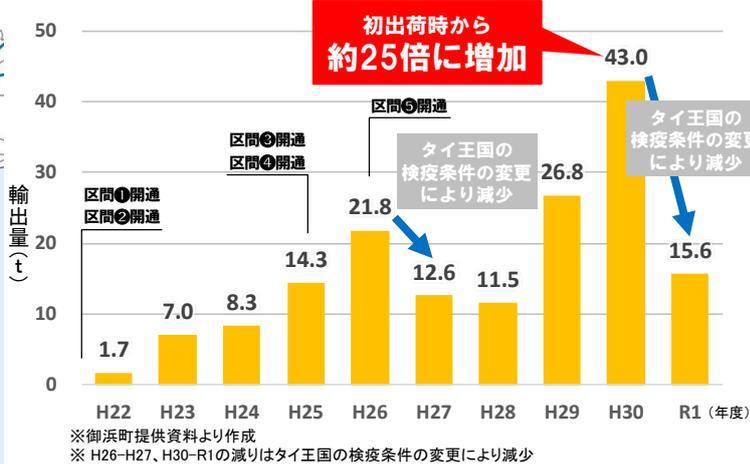


「三重南紀みかん」の販売状況(タイ王国)

- ❖ JA伊勢は、地域の温暖な気候を活かした柑橘類の生産とブランド化を推進し、近年、「三重南紀みかん」をタイ王国へ輸出。
(高級デパートで富裕層をターゲットに販売)
- ❖ 高速道路の開通により、峠道の揺れによる荷傷みが少なくなるなど安定輸送が実現し、輸出量が初出荷時の約25倍に増加。



「三重南紀みかん」のタイ王国への出荷量の変化



紀勢自動車道開通による交通の変化



峠道で急カーブが連続する国道42号

安定輸送が実現した紀勢自動車道

選果場から卸売会社までの輸送時間の誤差が少なくなったため、流通過程で仲卸加工に要する時間や量販店までの納入時間が読みやすくなり、時間に対するロスが軽減されました。また、量販店等の取引先の要請時間に合わせた出荷が可能になったため、取引先の拡大と売り場の確保が可能となりました。近年、道路開通と生産者の努力が合わさり、傷み等のロスが減少しました。



JA伊勢の声
※JA三重南紀は現在JA伊勢に名称変更

※紀勢国道事務所・御浜町によるヒアリング調査結果より作成



～精密製品の安定輸送が実現～ 地方の高い技術力で 日本の住宅火災を守る！



業界シェアNo.1
(※パナソニック調べ)



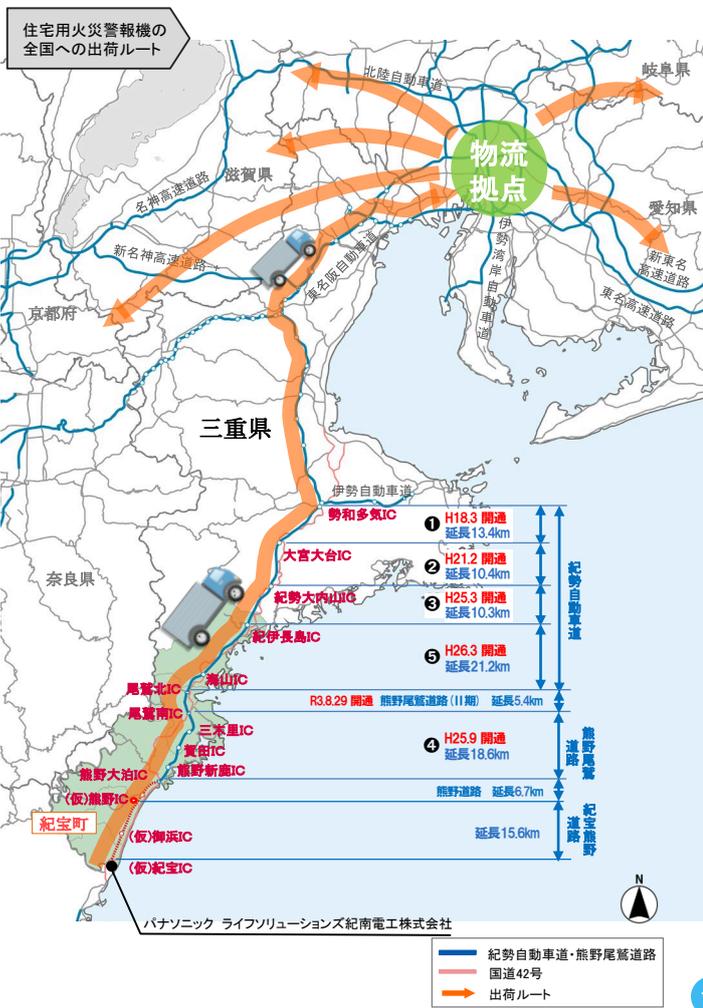
電池式ワイヤレス
連動型(親器)



電池式ワイヤレス
連動型(子器)

パナソニック ライフソリューションズ紀南電工株式会社

- ❖ 業界No.1のシェアを誇り、日本全国の家庭で使われているパナソニック製住宅用火災警報器を紀宝町内の工場で製造。
- ❖ 高速道路の開通により、**精密製品の安定輸送**が可能となり、**品質確保を支援**。
- ❖ **輸送インフラの整備を見据え、工業団地に進出**。さらには、**増築により事業規模を拡大**。さらなる雇用創出や地域活性化に期待。

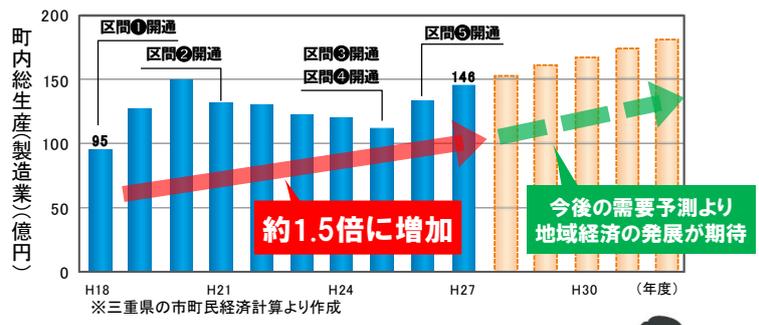


工業団地への進出



井内工業団地に進出したパナソニック ライフソリューションズ紀南電工株式会社

紀宝町の町内総生産(製造業)の推移



自然豊かで製品の輸送インフラも充実してきたこの町で、事業を拡大して雇用創出に貢献したい。

※H27年3月27日 工業団地売買契約書調印式での会見より作成

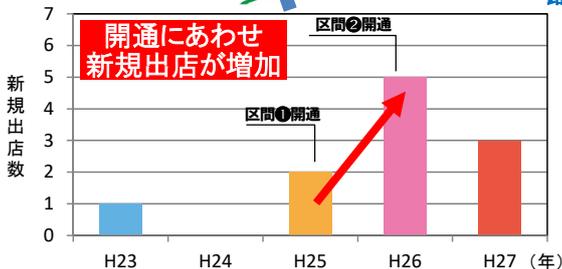
パナソニックエコソリューションズ 電材三重(株)の声
※現在はパナソニック ライフソリューションズ 紀南電工株式会社に名称変更

～まちなかに多数の店舗が新規出店～ にぎわいが創出され 新規求人数も増加！

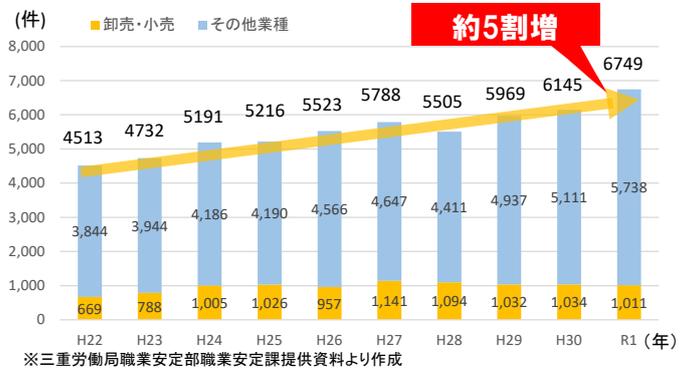


国道42号沿道の状況（尾鷲市）

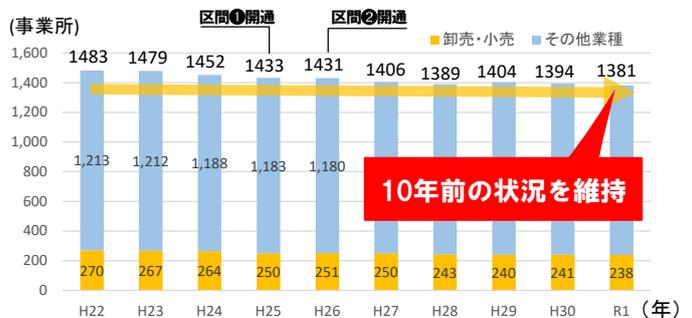
- ❖ 高速道路の開通に合わせて、尾鷲市内では多数の店舗が**新規出店**。
- ❖ まちの“にぎわい”が創出されるとともに、**卸売・小売業**の**新規求人数も年々上昇**し、地域の雇用が創出。



東紀州地域の新規求人数の推移(卸売・小売業、その他)



東紀州地域の事業所数の推移(卸売・小売業、その他)



新規出店した理由としては、**通行止めがなく、商品の安定的供給の面も大きい**ですが、**時間短縮が一番のメリット**です。高速道路が開通した影響は非常に大きいと感じています。



「コンビニエンスストアの声」

※紀勢国道事務所によるヒアリング調査結果より作成



銚子川（紀北町）

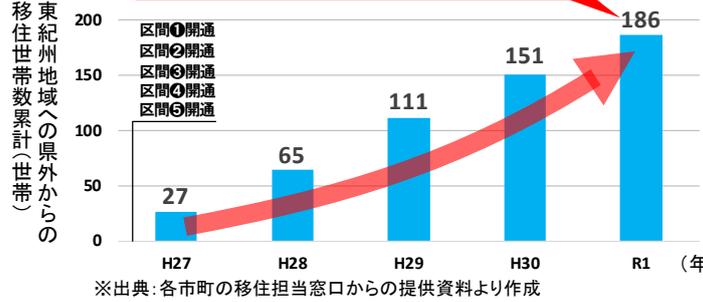
～地域の魅力向上を支援～ I・Uターン世帯や 高校生の地元就職が増加！

- ❖ 三重県・東紀州地域の市町は、I・Uターンなどの移住による地域おこしを目指し、移住体験や現地見学会など各種取組を実施。
- ❖ 地域の紹介では紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の整備によるアクセス向上をPR。移住世帯は年々増加傾向にあり、東紀州地域全体では約1.2倍に（前年比）。
- ❖ 東紀州地域の高校（尾鷲・木本・紀南）では、地元の企業へ就職する卒業生が着実に増加。



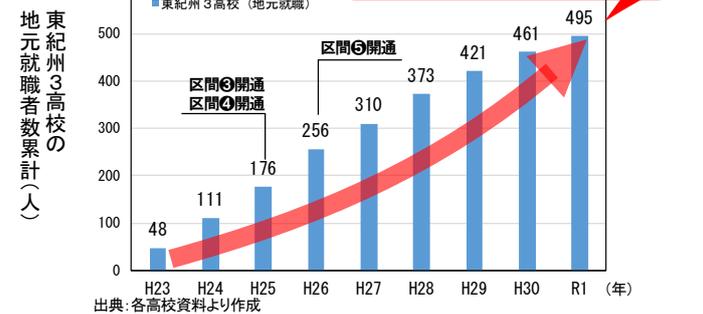
東紀州地域への移住世帯数の推移(累計)

東紀州地域へ紀勢自動車道、熊野尾鷲道路開通後に186世帯が移住



東紀州地域の3つの高校の地元就職者数(累計)

地元就職者数が495人に！



紀勢道・熊野尾鷲道路の整備によるアクセス性の向上が、PRのひとつになっています。



【紀宝町の声】

尾鷲方面からの進学者の増加や高校を訪問する企業が増加しています。また、三重県内の他地域へのアクセス向上により、県内の企業に就職する生徒が増えました。



【高校進路指導担当の声】

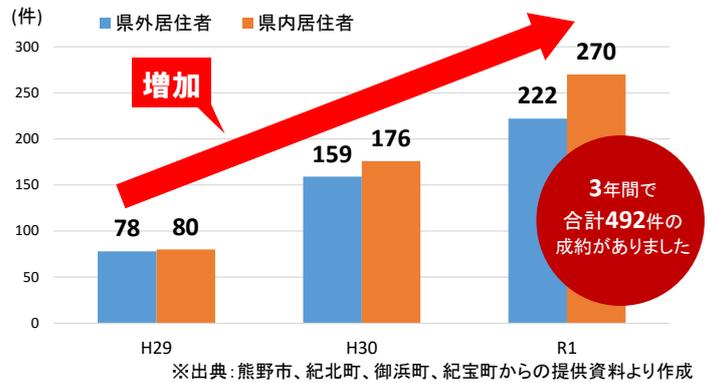
～空き家の有効活用にも寄与～ 2地域居住で 豊かな暮らしが実現！

移住体験住宅「みやか」（尾鷲市）

- ❖ 尾鷲市では空き家が増加している中、空き家バンク制度が平成26年度からスタートし、**空き家バンクの成約件数が増加傾向**にあるなど、空き家の有効活用が実現。
- ❖ 高速道路の整備により、名古屋から2時間半で尾鷲市に到着できるようになったことから、移住して田舎暮らしを楽しむ人が増加。また、普段は都会に住み、休日は釣りなどのレジャーを楽しむなど、**2地域居住のライフスタイルが実現**。



東紀州地域※の空き家バンク成約件数の推移(累計)



2地域居住のライフスタイルのイメージ



尾鷲市の空き家のニーズは年々増加し、田舎暮らしがしたい等の理由で移住される人がいます。また、宿泊するよりも空き家バンク等で賃貸の方が安いので尾鷲で空き家を賃貸し、週末は尾鷲に釣り等に来て、平日は大都市で働くなど2地域居住を行っている人がいます。これらは高速道路の整備効果であると感じています。

※紀勢国道事務所によるヒアリング調査結果より作成

[おわせ暮らしサポートセンター代表者の声]

～スポーツ交流地としてのブランド化を推進～
**スポーツ交流宿泊者数が
 過去最高を記録！**

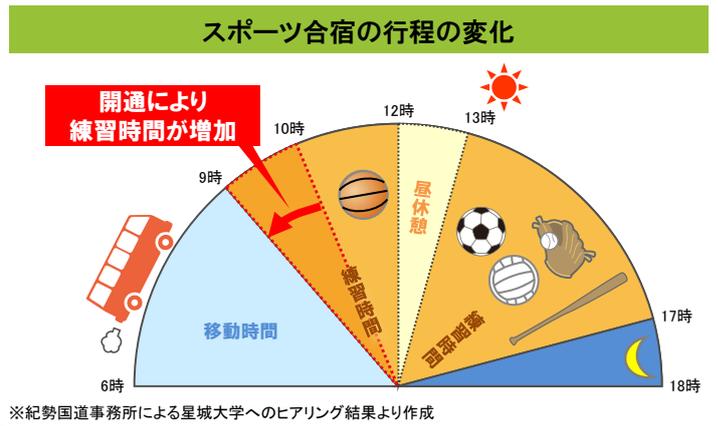
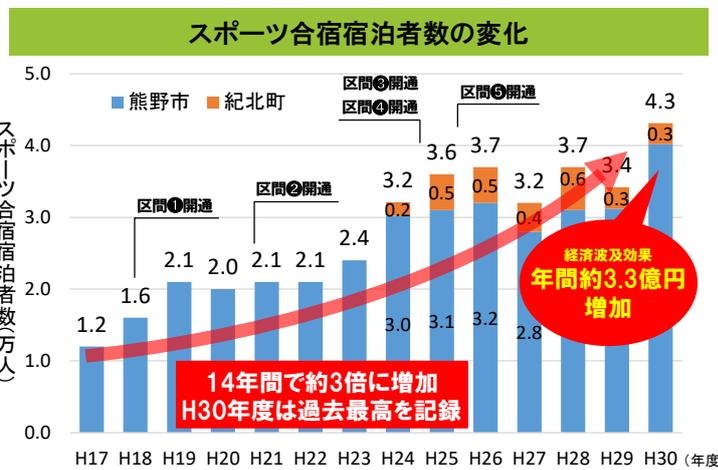


熊野SUPマラソン2015（熊野市）

- ❖ 高速道路の延伸に伴う交流圏の拡大と温暖な気候条件を活かし、紀北町・熊野市では**スポーツ交流地としてのブランド化を推進**。
- ❖ 世界少年野球大会をはじめとする全国的なスポーツ大会が開催されるなど、**スポーツ合宿宿泊者数**は高速道路未整備時である平成17年に比べ、紀勢自動車道全線および熊野尾鷲道路開通後の平成30年では、**約3倍に増加し過去最高を記録**。



※紀北町、熊野市のHPIに掲載されているスポーツ施設、宿泊施設を記載





～交通分散により渋滞が大幅減少～

世界遺産で 打ち上がる花火をゆっくりと！



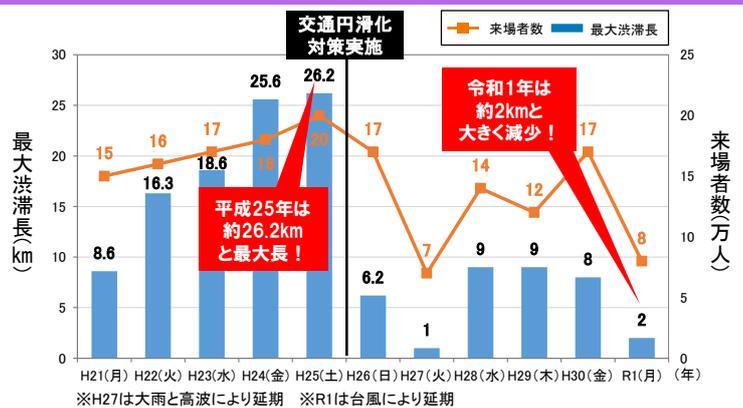
熊野大花火大会 2015（熊野市）

- ❖ 毎年8月17日に開催される熊野大花火大会は、多くの観客が訪れ、賑わいを見せる反面、国道42号をはじめとした会場周辺の道路では**交通集中による深刻な渋滞が発生**。
- ❖ 渋滞緩和に向け、熊野尾鷲道路は「バスなどの公共交通のみ通行可」とし、一般車は国道42号を通行することで、**交通分散を図る交通円滑化対策を実施**。
- ❖ 国道42号（現道）では、平成25年に最大約26kmあった渋滞が、令和1年には約2kmまで減少し、渋滞緩和に貢献。

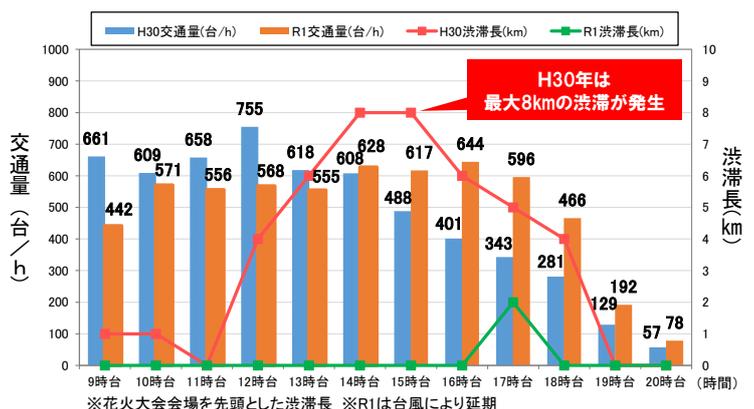


熊野尾鷲道路のバス通行状況

来場者数と国道42号（現道）の最大渋滞長の変化



国道42号（現道） 和歌山方面へ向かう渋滞長





～ニューノーマルな旅をサポート～ 道の駅と連携して 周遊観光の拠点を形成!



令和2年10月にオープンした宿泊特化型ホテル（御浜町）

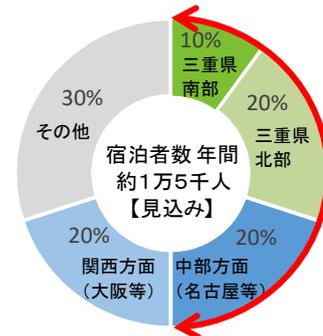
- ❖ 「道の駅」パーク七里御浜に観光案内所（外国語対応のインフォメーションセンター）が令和2年6月にオープン。
- ❖ また、同年10月には、道の駅に隣接して宿泊特化型ホテル（フェアフィールド・バイ・マリOTT・三重御浜）がオープンし、道の駅と連携した地域活性化に期待。
- ❖ 現在は観光目的での三重県内や中部方面からの利用が多いものの、今後紀勢線が延伸することで関西方面等遠方からの利用やワーケーションなど様々な生活スタイルに合った利用に期待。

紀宝熊野道路の御浜IC(予定)に近接立地



さらなる県外からの来訪を期待

R2年10月～1月までの方面別の利用客は約5割が三重県内と中部方面からの利用



その他の期待される効果

- ・宿泊数の増加
- ・ワーケーションなど新たな働き方に合わせたホテル利用が可能に
- ・利用圏の拡大(遠方からの利用需要拡大)
- ・同ホテルを中心とした周遊型観光の活性化

※フェアフィールド・バイ・マリOTT・三重御浜ヒアリング

隣接する「道の駅」パーク七里御浜と連携



観光案内所が令和2年6月に開設



地元食材を使用して道の駅で調理したモーニングBOX

当ホテルは道の駅プロジェクトの一環で御浜町に立地し、隣接する道の駅と連携して宿泊に特化したホテルとして開業しました。

自然や景観に恵まれた当地も高速道路整備が進むことで名古屋等との都市からのアクセスがより良くなっていくことから、新たなトリップベースとして多くの方に利用してもらうことを期待しています。



[フェアフィールド・バイ・マリOTT・三重御浜担当者の声]

東紀州地域高速道路整備効果

紀勢自動車道・熊野尾鷲道路は令和3年8月29日に全線開通し、

ストック効果のとりまとめについては、

国・高速道路会社・県・市町協力のもと進めています。

東紀州地域では高速道路の開通以前より、

自治体・民間による投資、キャンペーン等の取組の結果、

観光入込客が過去最高を記録するなど、

様々なストック効果※が現れています。

今回、高速道路の開通がもたらした様々な効果を

「国・高速道路会社・県・市町が一体」となって幅広く調査・分析する事で

「個々では見えなかった効果」などを把握し、それを広くPRする事などにより、

東紀州地域の更なる地域活性化・地方創生に期待しています。

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期的に得られる効果



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路(株)



国土交通省

三重県県土整備部道路企画課

尾鷲市市長公室 熊野市市長公室 紀北町企画課 御浜町企画課 紀宝町企画調整課

中日本高速道路株式会社名古屋支社 国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所



高速道路開通を祝う行燈（熊野市）

東紀州地域高速道路整備効果検討会



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路（株）



国土交通省